



市房山の雪化粧

議会だより

第33号

もくじ

12月定例会 ……………	14	第5回臨時会……………	16
●一般会計補正予算…	14	一般質問……………	17
●主な質疑……………	15	編集後記……………	18
●特別会計補正予算…	16		

令和3年第4回定例会が12月7日に開催され、条例の改正2件、補正予算5件などが提案され、いずれも審議の結果、原案のとおり可決した。

令和3年度水上村
一般会計補正予算(第5号)

一般会計補正予算 1億600万円 追加

歳入歳出予算の総額に1億600万円を追加し、総額を49億9,600万円とするもの。

ふるさと寄附金事業費4,412万7,000円、ふるさと応援基金積立金3,000万円、子育て世帯への臨時特別給付金事業1,708万円、新型コロナウイルス感染症対策グルメクーポン事業補助金500万円などの事業が追加計上された。



令和3年度水上村
一般会計補正予算(第6号)

一般会計補正予算 450万円 追加

歳入歳出予算の総額に450万円を追加し、総額を50億50万円とするもの。

古屋敷体育館トイレ等改修工事450万円の事業が追加計上された。



条例などの審議結果(補正予算を除く)

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	水上村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	上位法である国の法律の改正にともなうもの	可決 (全員賛成)
議案第2号	水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	上位法である国の法律の改正にともなうもの	可決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可決 (全員賛成)

疑問点を問いただす!

— 主な質疑 —

那須 良策 議員

Q

ふるさと寄附金が6,000万円に対し、事業費が約4,400万円で半分残らないと思うが不足分も含めての補正なのか。

A

田代総務課長
通常であれば半分が経費、残りが基金となるが今後の追加分があった場合、業者に対しすぐ経費を支払う必要があるため、若干増額して予算措置をしている。寄附額が大幅に増えた場合、専決処分を行うか臨時会で対応させていただきます。

Q

元湯の温泉施設使用料について、12月になって補正が出ているが予算時に正確に調べているのでは。

A

西本保健福祉課長
5月までは(株)みずかみが運営しており、無料温泉券使用

後の半券は半額券として利用でき観光サービスの一環として村に請求されていなかったが、6月より社協運営となったため補正をお願いしたい。

山崎 隆浩 議員

Q

ふるさと寄附金事業で納税寄附者に年賀状送付とあるが、村の情報等を記載する計画は。

A

田代総務課長
本村のホームページやポータルサイトにアクセスできるQRコードや写真を組み合わせ、お礼状として年賀状を想定している。

米本 宗徳 議員

Q

古屋敷体育館トイレ等改修工事で、トイレは外からも入れるような設計か。

A

田代総務課長
室内専用で設計している。



一特別会計補正予算一

令和3年度水上村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）

国民健康保険特別会計（事業勘定）

歳入歳出予算の総額に2,197万4,000円を減額し、総額を3億1,607万2,000円とするもの。

令和3年度水上村介護保険特別会計補正予算（第2号）

介護保険特別会計

歳入歳出予算の総額に2,500万円を追加し、総額を4億1,877万円とするもの。

令和3年度水上村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

簡易水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額に48万4,000円を追加し、総額を9,329万1,000円とするもの。



いずれも審議の結果、原案のとおり可決した。

第 5 回 臨 時 会

11月24日開催

○令和3年度水上村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に1,200万円を追加し、総額を48億9,000万円とするもの。

主に新型コロナウイルス感染症対策グルメクーポン事業補助金500万円、湯山温泉水中ポンプ修繕400万円などの事業が追加計上された。



○条例などの審査

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	工事請負変更契約の締結について	湯山小学校屋内運動場災害復旧工事に係る請負変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可 決 (全員賛成)

村の現状！今後の見通しは！！

Q. 地元産業が潤うような取り組みは

A. 1万本の桜と、豊富な地域資源の磨き上げ



尾前 武志 議員

問 観光で1年間に訪れる人数と多い月は。

答 川俣産業振興課長

令和2年観光統計で前年比で9万2,617人減の7万7,971人である。月別では、日帰り客が3月、4月で宿泊客が8月、7月となっている。

問 水上村の一番の観光は、桜の時期だと思うが、てんぐ巢病に対しての樹木医の診断また、切る時期は。

答 川俣産業振興課長

樹木医からは、特にひどい場合は癒合剤の散布を考えたがよいと聞いている。また、落葉後の寒い時期に切っている。

問 昭和59年から始まった日本一の桜の里づくり運動は、現在どのような取り組みをしているか。

答 川俣産業振興課長

桜の情報を集約した情報基地づくりを基調とし、産地間競争に対応すべく自立できる桜の里ブランド製品の開発、人材育成による活気に満ちた豊かな村づくりを目指す取り組みを行っている。

問 年間を通して地元物産館、飲食業、宿泊業、温泉施設など多くの商業施設が潤うような日本一の桜の里づくりが必要ではないかと思うが、今後の取り組みは。

答 川俣産業振興課長

基本姿勢は、1万本の桜をシンボルに人とのつながりを大切にしながら、豊富な地域資源を活用した観光の継続と進化、磨き上げを行い、ワーケーションやサテライトオフィス等の受け入れ態勢の整備などに取り組んでいきたい。

問 植栽がなされ60年近く経ち寿命が近づいていると思うが、これからの5年先を見て管理を行うか、それとも40年、50年先を見て管理を行うか。計画的な改植は考えていないか。

答 中嶽村長

『染井吉野』は、育て方によっては70年、80年もつことも不可能ではないと「さくらの会」から聞いており、根気よく育てていくことが必要であり、てんぐ巢病に強いといわれる『神代曙』や『陽春』を後継種として植栽し、地域デザインを推進していきたいと思っている。また、四季折々の景観を醸し出す意味からも桜ともみじの混植も行っていければと考えている。



Q. 義務教育学校の開校に向けての取り組みは

A. 各部会で問題点を協議していく



米本 宗徳 議員

問 以前、小中一貫教育について質問した時に義務教育学校の話があり、その後、保護者向けの説明会や視察研修などが行われてきた。令和5年度から始めたいという話があったがどんな形でスタートするのか。

答 西野教育長

義務教育学校は小学1年生から中学3年生まで通した教育をする学校である。1つの学校に1年生から9年生まで入るのが普通だが、本村の場合は保護者の方々から小学校を早く一緒にしてほしいという強い要望があり、スタートは施設等の関係もあり分離型で始め、館が出来次第、一体型の義務教育学校にしたい。また、5、6年生に関しては中学校の専門教科の先生を入れ、教科担任制を手厚くし、中1ギャップを防ぎたい。

問 令和4年度末、3校同時に行う閉校式の内容と予算の流れについてどのように考えているか。

答 西野教育長

10年前のあさぎり中学校の例を参考にしながら、各学校PTA、学校運営協議会、人づくり振興会、OBとして教職員といった方々で実行委員会を作り、閉校式典や記念碑、記念誌の作成をしていただきたい。

答 堤田教育課長

予算関係は、PTAではなく実行委員会に補助金を出す形で、教育委員会から専属でお願いした方に取りまとめていただきたいと考えている。

問 学校関係は、今後どのような準備をしていくのか。

答 西野教育長

学校教育では、教育部会、生徒指導部会、学習部会、保健・安全部会、事務部会の5部会で編成し協議を進めていく。他に部会長会議、先生たちが参加する全体会、研修会または校長会を定期的に開催し問題点を協議していきたい。

問 5、6年生の教科担任制は施設が離れているので先生の負担にならないか。

答 西野教育長

視察研修で調整する方法がわかったので、先生方の負担を軽減していきたい。

編集後記

受験シーズン真っ只中、自分のやりたいことを目指して高校、大学へと進む。私が子供の頃は将来の目標がなく、ただ野球がやりたくて高校、大学に通い、卒業する頃になってようやくやりたいことが見つかった気がするが、今の子供たちはしっかりとした目標を決め、高校や大学を受験している。

入試だけでなく、スポーツの大会や発表会などに出かける朝「頑張れよ」と声をかける方が多いのではないかと。「頑張れよ」がプレッシャーになる子が多いらしく「いつてらっしゃい」とか、「今日の夕食は何にするね」といった普段通りに送り出すのが良いと言われている。子供たちが、自分の力を発揮できる環境を作ってあげるのが、私たちの役割ではないかと思う。

「受検生頑張れ」？ 米本 宗徳

広報特別委員会

委員長 米本宗徳

副委員長 山崎隆浩

委員 杉野久志・尾前武志